

単元名:私の学校を紹介しよう																																	
科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー																												
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-																												
話題分野	学校生活	言語レベル	1	必要時間数	6時間																												
I 単元目標																																	
自分の学校を紹介する資料を作成し、韓国研修旅行で交流校を訪問した際にプレゼンができる。韓国の高校生の学校生活についても積極的に質問し、交流した学生の情報をクラスで発表できる。			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>言語</th> <th>文化</th> <th>グローバル社会</th> <th>学習者</th> <th>教室外</th> <th>他教科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わかる</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>できる</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>つながる</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科	わかる							できる							つながる						
	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科																											
わかる																																	
できる																																	
つながる																																	
		文化領域		グローバル社会領域																													
<ul style="list-style-type: none"> ◆韓国の学生に苦手な科目や好きな科目をたずねることができる。 ◆連絡先を交換することができる。 ◆交流会で自分や学校を紹介することができる。 ◆韓国語で時間割や学校の見取り図をつくることことができる。 ◆写真にお礼の言葉を添えて韓国の高校生に送ることができる。 ◆初対面の相手に対し、仲良くなるために積極的に自己表現ができ、また相手の情報を得ながら相手を理解する姿勢をもつことができる。(コミュニケーション・ストラテジー) 		<ul style="list-style-type: none"> ◆日韓の高校における、授業科目と時間割、学校の設備、学年の呼びかたなどの違いに気づくことができる。 ◆課外活動についての日韓高校生の比較を通して、大学受験・就職活動の違いに気づくことができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆日韓それぞれの国における教育システムや、同国の他の学校間とも比較して、その異同を考えることができる。(知識理解、高度思考) ◆写真やスライドショーなど、ITを活用して効果的なプレゼンテーションができる。(情報活用) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。 																													
コミュニケーション能力指標	【学校生活】 1-a.学校の名前や所在地(都道府県や市など)を、言ったり書いたりできる。 1-b.ハングルで書かれた時間割(何曜日、何時間、科目など)を、読んで理解できる。 1-c.好きな科目や嫌いな科目について言ったり尋ねたりすることができる。 1-d.学校のこと(制服、給食、宿題、体育館・図書室ほかの設備の有無など)について、口頭でやりとりできる。 1-f.授業やクラブを担当している先生(名前、性別、担当科目やクラブ、出身地など)を口頭で紹介することができる。 1-g.自分が学習している科目名や学校の施設名を、書いて伝えることができる。																																
	【自分と身近な人びと】 1-e.(自分やクラスメート、先生などの)名前をハングルで書いたり読んだりできる。 ★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している																																
II 評価																																	
学習を助けるための評価 (形成的評価)			目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)																														
<ul style="list-style-type: none"> ◆ハングルの時間割や見取り図を作成する。(情報の適切さ、見やすさ、正確さ) ◆クラスで自己紹介のリハーサルを行う。(発音、流暢さ、内容の適切さ、好感もてる話し方、友好的・積極的な態度) ◆韓国の高校生、高校生活について簡単レポートにまとめる。(内容の適切さ、独創性、文化比較の視点) 			<ul style="list-style-type: none"> ◆交流した学生についての情報を、韓国語を使って口頭でレポートする。(情報整理、視聴覚資料の活用効果、わかりやすさ) ◆交流の成果をまとめた日本語のレポートを書く。(情報量、文化への気付きや考察、要点、分かりやすさ、表現の適切さ) 																														

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆勉強している教科のリストを配り、語彙を確認する。いくつかの教科の単語を選び、その教科の担任は誰か、その教科が好きか嫌いかわたしにインタビューしよう。【1—b,c,f】</p> <p>◆普段、自分が勉強している1週間の時間割をハンズルで書いてみる。【1—g】</p> <p>◆学校の所在地や、制服、給食、設備(図書館、体育館など)、宿題の有無などが少しずつ違う学校の表を準備し、人数分コピーする。1枚ずつ1校にマークをつけて(重複可能)学生たちに配布する。学生は、マークのつけられた学校の生徒になってインタビューに応じて。インタビュータスクをしながら、相手がどの学校の生徒なのかを当てる。【1—a,d】</p> <p>◆自分の学校の簡単な見取り図に、ハンズルで施設名を書き込む。【1—g】</p> <p>◆学校の先生の性別や担当科目、出身地などをヒントで出し、どの先生か当てるという連想ゲームをする。【1—f】</p> <p>◆韓国の高校生がどんなことを学んでいるのか、日本とどのような点が違うのか、翻訳された教科書の目次を読んで話し合う。【1—b】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> C高校の生徒は、研修旅行で韓国に行き、現地の交流校を訪問しミニ交流会を開くことになった。交流会では、グループごとに分かれて自己紹介や学校紹介をすることになった。</p> <p><活動の流れ> 研修旅行に行く前にクラスで自己紹介の練習をする(名前、学校名、所在地、勉強している科目、得意不得意科目など)。C高校についてわかりやすく紹介するために、韓国語の時間割や、学校施設がわかる簡単な見取り図、クラブ活動の写真を用意する。それらを素材にITツールを使って紹介資料を作り、時間割や学校の中を紹介する練習をする。韓国の生徒にどのような質問をするかクラスであらかじめ話し合い、練習する。交流会の最後に挨拶をする代表を決め、みんなで挨拶の内容を決める。学校の記念品を選ぶ。 ミニ交流会では、まず自分や自分の学校を紹介し、その後、韓国の高校性にも得意な科目や苦手な科目について聞いてみる。交流会の最後に代表がお礼を述べ、記念品を渡す。連絡先を交換して学校をあとにする。 帰国後、交流会で得た情報をクラスで話し合い、韓国の高校生、高校生活について簡単なレポートを書く。交流会の様子を撮影した写真にお礼の言葉を添え、韓国の高校に送る。</p> <p>ヒント ◆全体や学年集会、朝礼などの時間に機会をもらい、全校生徒対象に韓国の高校生との交流の成果を発表する ◆地域の韓国語を学習している外国人学校(朝鮮学校や韓国学校)との交流会を設定して、実施する。お互いどんな科目があるのか、どんな教科書を使っているのか実物をみながら比較して話し合う。</p>	
<p><使用教材・教具> 教科リスト、時間割、さまざまな学校の概要が書かれたカード、インタビューシート、学校の見取り図、韓国の教科書</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 처음 뵈겠습니다. / 만나서 반가워요. / 저는 —라고 합니다. / 2학년이에요. / 우리 학교는 오사카 근처에 있어요. / 이게 교복이에요. / 어때요? / 저는 지금 영어하고 국어하고 수학을 공부하고 있어요. / 좋아하는(싫어하는) 과목은 체육이에요. / 교시는 9시에 시작해요. / 그리고 6교시는 3시 반에 끝나요. / 오전 수업은 9시부터 12시까지입니다. / 숙제가 많아요. / 우리는 수요일에 한국어 배워요. / 야마시타 선생님은 단임 선생님이 아니에요. / 수업 후에 특별활동 시간이 있어요. / 저는 만화부예요. / 재미있어요. / 이런 것을 만 들어요. / "원피스" 팬이에요. / 여기가 도서관이에요. / 거기가 조리실이에요. / 사진 보세요. / 교실에 에어컨이 없어요. / 우리 학교 기념품 선물이에요. / 받으세요. / 감사합니다 또 만나요. / 같이 사진 찍어요. / 사진 보낼게요. / 이거 제 메일 주소예요. / 안녕. / 다시 만나고 싶어요. / 행복하세요. / — 이게 뭐예요? — 친구예요? / — 어디에 있어요? / — 뭘 배워요? / — 어렵지 않아요? / — 하루에 몇 시간 공부해요? / — 집에서 공부 안 해요?</p> <p><表現のポイント> 初対面と別れの挨拶、感謝の表現、簡単な書き言葉 メッセージ / 動詞・形容詞+です; 아・어・해요(시작해요. 끝나요. 등) / 있어요・없어요 / 여기・거기・저기는 —입니다 / 이・가 아니에요. / 名詞+です; 예요・이에요 / 좋아하는 / 싫어하는 / —부터 —까지</p>	<p>教科名(음악, 체육, 국어, 사회 등)、部活名(만화부, 야구부, 탁구부 등)、施設・教室(도서관, 조리실, 교실, 교무실 등)、曜日(일요일—토요일)、1~6時間目(1—6교시)、時間割の単語(교시, 쉬는 시간, 점심시간, 과목 등)、自己紹介をする単語(사진을 찍다, 소개하다, 설명하다 재미있다 등)、簡単なあいさつ表現(안녕하세요, 반갑습니다, 안녕히 가세요, 이거 보세요)</p>	<p><事象> ◆授業科目と時間割 ◆学校の設備 ◆学年の呼び方 ◆課外活動 ◆教育システム</p> <p><事象のポイント> ◆授業科目と時間割、学校の設備、学年の呼びかたなどの違いに気づく。 ◆お互いの高校生活を比較しながら、それぞれの国におけるシステムや、同国の他の学校間とも比較して、その異同を考える。 ◆課外活動についての日韓高校生の違いを通して、教育のシステムや大学受験・就職活動の違いに気づく。 ◆国によって教育システムが異なり、その国の教育への考え方を反映し、社会構造と深く関わっていることについて知る。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋	他教科の内容との連繋	
韓国の高校、地域の外国人学校	地理(韓国の都市や町の位置)、現代社会(韓国の教育問題)、美術(見取り図)	